

泉茂《作品》(詩画集『大阪』より/小野十三郎「わがたてるところより」によせる) 1955年 エッチング 個人蔵

泉茂 1950s 陽はまた昇る

Shigeru Izumi in the 1950s,
The Sun Also Rises



市立伊丹ミュージアム
Itami City Museum
of Art, History and Culture

2024年6月14日(金)→7月28日(日)

休館日：月曜日(7月15日は開館、翌16日は休館) 開館時間：10:00-18:00(入館は17:30まで)

観覧料：一般500(400)円、大高生300(250)円、中小生200(150)円

※()内は20名以上の団体料金 ※兵庫県内の小中学生はココロカード提示にて無料

※伊丹市在住の高齢者料金有(平日60歳以上、土日祝65歳以上)

主催：市立伊丹ミュージアム[伊丹ミュージアム運営共同事業体/伊丹市]

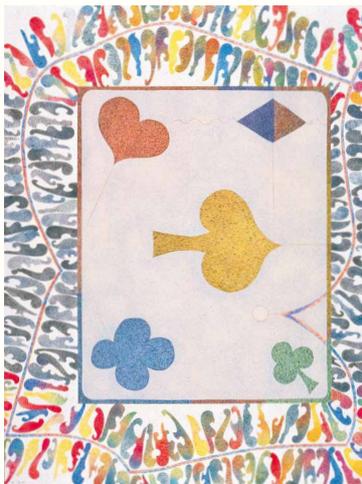
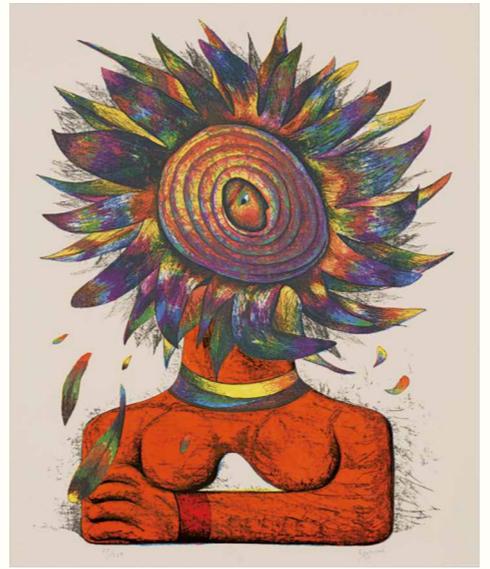
泉茂 1950s 陽はまた昇る

Shigeru Izumi in the 1950s, The Sun Also Rises

泉茂(1922-1995)は大阪市に生まれ、1940年代後半から約50年にわたり戦後関西の芸術動向を牽引しつづけた画家です。1951年、大阪で結成されたデモクラート美術家協会への参加を契機に、シュルレアリスムをはじめとする先鋭的な作品を制作し、前衛美術家としてのキャリアを歩みはじめました。戦後の目まぐるしい社会の変化を敏感に感じ取りながら、常に表現を深化し、展開させて生み出した作品は、初期の抒情的な版画からその後の洗練された抽象絵画にいたるまで、独自のユーモアに彩られています。

「勇気と自信を或いは、生きるよろこびとかなしみ」を与える絵を描きたいと願いつづけた泉。その願いは、画家になりたいという希望を心の奥に抑圧しながら必死に生きた、戦争の記憶とも深く結びついています。「陽はまた昇る」という本展のタイトルは、戦後の危機的状況のなかでも、自由な精神と人間への信頼を作品で示しつづけた、泉の50年代の活動を象徴的に表したものです。戦後の荒廃した風景のなかで自己と社会を見つめ、その地平線の先に希望の夜明けを見つけた創作の軌跡は、不安定な現代を生きる私たちにも多くの示唆を与えることでしょう。

本展では、泉の作品に加え、泉の創作に関わる同時代の海外美術の動向や、異なる領域の表現者の作品や資料などあわせて約100点を紹介し、泉が創作にかけた想いを紐解きます。



1. 泉茂《仲間》1955年 エッチング、アクアチント 個人蔵
2. 泉茂《逃げたスペード》1955年 カンヴァスに油彩 徳島県立近代美術館蔵
3. 泉茂《机上》1952年 カンヴァスに油彩 市立伊丹ミュージアム蔵
4. 泉茂《インディアン》1956年 リトグラフ 個人蔵
5. 泉茂《逃げたスペード(2)》1988年 カンヴァスにアクリル 市立伊丹ミュージアム蔵
6. フェルナン・レジェ《美しい自転車乗り》1944年 カンヴァスに油彩 徳島県立近代美術館蔵

同時開催

- 「季節を愛でる一併譜と茶の湯」[展示室1・2]
観覧料：一般800(700)円、大高生600(550)円、
中小生450(350)円
※「泉茂 1950s 陽はまた昇る」とのセット券：一般1,200(1,000)円、
大高生800(700)円、中小生600(450)円
※()内は20名以上の団体料金
- 「お茶の愉しみ展」[展示室6]
観覧料：無料

I'M 市立伊丹ミュージアム

Itami City Museum of Art, History and Culture

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20
TEL. 072-772-5959(代表) <https://itami-im.jp/>

[交通案内] 阪急伊丹駅より北東へ徒歩約9分、JR伊丹駅より北西へ徒歩約6分/阪急バスの伊丹中央停留所より北へ徒歩約3分
※専用駐車場はありません。宮ノ前地区地下駐車場(有料)をご利用ください。

